

ジャパン・ビジネスモデル・コンペティション 新潟ラウンドの報告

JBMC新潟ラウンド第四北越FG 賞を受賞して

健康歯ブラシチーム代表
歯学部歯学科2年 林 幸穂

この度、我々「健康歯ブラシ」チームはJBMC新潟ラウンドにて歯ブラシに関するビジネスプランを発表させていただきました。このプランは、我々のチームで考えたこれまでにない歯ブラシで、「人々のお口と全身の健康を守る」というものです。そして審査の結果、第四北越FG賞という素敵な賞を頂くことができました。また、歯学部ニュースに掲載させていただく機会もいただきました。本当にありがとうございます。ここでは、出場した時の私の想いを述べさせていただきます。

私が今回この大会に出場するにあたって考えていた目標が2つあります。

1つ目は、このプランを通して「歯の大切さを色々な人に知ってもらうこと」です。今回のプランに向き合う際、歯学部生として何ができるのかということを考えました。その中で、歯への興味関心が高い人ばかりが歯を守るということと向き合っているのではないかと思いました。私は、歯に少し興味があるけど歯のケアとそれほど向き合っていない人にこそ歯の大切さを訴えかける必要があると考えています。このような思いから、チームの先輩方とそういった方により歯を大切にしてもらえるようなプランを考えました。実際にその反響はとて大きく、審査員や会場の方からも歯についての話で盛り上がりました。今後も、たくさんの方に歯を大切にしようと思っただけのようなアクションを起こしていけたらと思います。

2つ目は、「新たな挑戦に果敢に挑む」ことでした。歯学部生である私にとって、ビジネスプランを考えるということが大きな挑戦でした。何度も自分の未熟さを実感し、困難にぶつかりました。しかし、そんな私を支えてくださる方々がいました。それは、「健康歯ブラシ」チームのメンバーである先輩方でした。先輩方はお忙しい中、休む暇も惜しんでプランのブラッシュアップやプレゼン準備を一緒にしてくださいました。そんな輝いている先輩方の背中を見て私もさらに奮闘することができました。先輩方と一緒にこのチームだったからこそ、私は大きな挑戦に最後まで挑むことができたのだと思います。

そして、一緒に戦いCLOVE賞を受賞した「母から子へ『健康を遺伝』させる歯ブラシ」チームの存在も私にとって大きなものでした。それぞれのチームでは見えていないことも、双方のプランをシェアし合うことでより良いものへと高め合うことができました。仲間であり良きライバルでもあるこのチームと一緒にいたからこそ、両チーム素敵な賞をいただくことができたのだと思います。

私は、この大会を通して素敵な仲間と協力し合い作り上げることの素晴らしさ、大切さを改めて強く実感しました。双方のチームメンバーや協力



してくださった仲間達には本当に感謝申し上げます。この経験を生かして将来良い歯科医師になれるよう日々頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、今回出場するにあたって

検証にご協力いただいた方、応援してくださった先生方、家族、友人に本当に感謝申し上げます。

これからは、次の全国大会へ向けてさらに頑張っていきたいと思います。



「ジャパン・ビジネスモデル・コンペティション新潟ラウンドの報告」

歯学部口腔生命福祉学科2年 花 沢 愛 莉

今回、私達のチームは「母から子へ健康を遺伝させる歯ブラシ」と題して、妊婦さんに優しい歯ブラシを提案させて頂き、ICLOVE賞を受賞致しました。私達のチームは新潟大学歯学部の女子学生で構成されており、将来母親になりうる私達だからこそ、歯科の分野から妊婦さんをサポートすることができるのではないかと思います、このようなテーマで発表致しました。

日本は少子化が進み、一人の女性が生涯に産む子供の数はピーク時の約半分になっているという問題を抱えています。さらに、少子化が進む中、低体重で生まれてくる子供の割合は増えており、この低体重児出生のリスクを高める原因の一つに歯周病があること、そして妊婦さんは歯周病になりやすいことから妊婦さんが歯磨きしやすいような歯ブラシがあればこの問題を少しでも解決できるのではないかと考えました。そこで私達は、妊婦と聞くと誰しもが思い浮かべる「つわり」の影響で妊婦さんが歯磨きしづらいという現状があるのではないかと仮説を立て仮説検証を行いました。現在妊娠中の方や妊娠を経験した方への妊娠期の歯磨きに関するアンケート調査や、妊婦さん個人へ直接歯磨き・歯ブラシに関する意見をお聞きするといった仮説検証を行い、妊婦さんは歯

磨きしたいと思っているのに困難な現状があることが分かりました。

このことから、妊婦さんのための歯ブラシが必要であることを再認識し、妊婦さんが使いやすい歯ブラシとは何かについて考えました。そして最終的に、ヘッドの大きさや毛の種類、硬さ、柄の材料、さらにデザインにこだわった歯ブラシを提案させて頂きました。特にこだわったのが柄の材料とデザインです。柄の材料には竹を使用することで、妊婦さんに優しい化学物質を使用しない歯ブラシを目指しました。デザインでは、歯周病になりやすい妊婦さんに正しい歯ブラシの交換頻度である1か月1回交換を推進するためのデザインを考案しました。

大会では、多くの方々から質問やアドバイスを頂き、もう一度この案を見直す良い機会となりました。また他の参加チームの発表からも刺激を受け、自分達の足りない所を知ることができました。私達は歯学部生であるため、経済学の知識がゼロの状態からのスタートで、分からないことやつまづくことが多くありました。しかし、チームメンバーはもちろん、様々な方のご協力のおかげでこのような素敵な賞を受賞させて頂けたこと、そして歯科の分野ではない方々に少しでも歯について興味を持っていただけたことが何より嬉しかったです。今回、未熟な私達がこのように発表する機会を頂けたこと、そして関わってくれたすべての方々に感謝して今回得た知識や経験をこれからの将来に活かしていきたいです。